

# 3年学年だより

第7号

平成30年10月26日(金)

尾張旭市立旭中学校

## 「最後の」が増えてきました

旭中学校で過ごす日も100日をすでに切り、「最後の」という言葉が多くなってきました。先日は、「最後の」夏服期間が終わり、全員が最後の冬服期間に突入しました。あのさわやかな夏服を着たみなさんにはもう会えないのか、と思うと少しさみしい気持ちになります。(最終日にあえて夏服に戻ってくる生徒もいました。名残惜しいですね。)



さて、**文化発表会**を二週間後にひかえ、どのクラスも日々合唱練習に熱が入ってきています。音楽室で聴いた歌声も、授業後の練習に向かう姿勢も、「さすが3年生」と言えるものです。生徒自身が「最後の」文化発表会であることをしっかり自覚しているのだな、と頼もしく感じました。

また、前期の委員会が終わり、**前期室長**達もその役割を終えました。今回はその「振り返り」(その①)と、室長達の「こんな文化発表会にしたい」を紹介します。

### 前期の振り返り①

- 行事を今までと違う目線で見ることができて楽しかった。難しいこともあったけど、自分たちの案が通ったときは本当にうれしかった。【A 星原】
- 体育大会が近づくと、全員リレーの順番決めを任されてしまい、正直ストレスがたまっていました。リハーサルの時に人数を間違えてしまい、「自分のせいだ。もうみんなの顔が見れない」と思っていました。3Gの人たちは「決めてくれてありがとう」と言ってくれました。病み期もめっちゃあったけど、やりがいを感じたし、一生役に立つステキな仕事でした。【G 赤尾】
- 普段では体験できないことを学びました。室長をやっていなかったら、全校の前で「3Dも半端ないって」なんて言えませんでした。この経験を生かして後期室長を支えます!【D 林】
- 自分たちのクラスだけでなく、学年全体を見るという機会がたくさんありました。大変なこともたくさんあったけど、最後までやり切れてよかったです。【A 登林】
- 私は3回室長を経験して、全員が全員最初から仲良くはなかったけれど、行事を通して協力していろいろなことにチャレンジできたと思います。感謝しています!【D 神谷】
- 前期と後期はやるのが違って楽しかったです。3年生の最後の前期室長をやれて、いい経験になりました。後期の人も大変かもしれませんが、終わったら「やってよかった」と思うでしょうから、がんばってください。【G 若杉颯】
- なかなか意見はまとまらなかったけど、楽しかったです。自分は2回目の室長ですが、1回目よりもだいたい意見が言えるようになりました。【B 東】
- この前期、一二年の時とは全く違う、三年生の盛り上がりを感じました。体育大会がすごく盛り上がったのは三年生全員の力だと思います。ありがとうございました!【E 清】

### こんな文化発表会にしたい



- 大人になっても忘れない、思い出に残る、**三年間で最高の文化発表会に!**
- 楽しく、でも必死に練習して、**みんなが「やり切れた」「よかった」**って言えるように!
- 三年生の力を見せつけ、一二年生に継いでもらう!**担任の先生を泣かせたい!

多かった室長の思いをまとめました。これを読むみなさんは、どんな「最後の」文化発表会にしたいですか?「**歩く人が多くなれば、それが道になるのだ**」(「故郷」)室長の思い、実現するといいですね。